#### らくらくミクロマクロ経済学「計算問題編」

訂正表(2017年1月11日現在)

\_\_\_\_\_

### P158

ページ下部のマスグレイブ・ミラーの指標は、その指標を「 $\alpha$ (アルファ)」とします。 式も現在の「 $\Delta Y = \sim$ 」から「 $\alpha = \sim$ 」へ変更します。

### P159

P158のマスグレイブ・ミラーの指標を「 $\alpha$ (アルファ)」に変更したので、問題の解説部分の式もそれに合わせ、「 $\Delta Y = \sim$ 」から「 $\alpha = \sim$ 」へ変更します。

# 【問題 078】の解答と解説 ●

マスグレイブ=ミラーの指標を用います。

$$\frac{1}{Q} = 1 - \frac{\frac{1}{1 - c(1 - t)}}{\frac{1}{1 - c}}$$

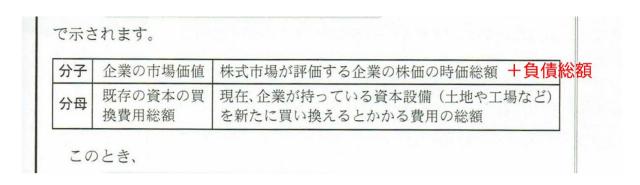
ここで、問題文より c=0.8、 t=0.25 を代入します。

$$\frac{1}{Q} = 1 - \frac{\frac{1}{1 - 0.8(1 - 0.25)}}{\frac{1}{1 - 0.8}} = 1 - \frac{2.5}{5} = \frac{1}{2}$$

-----

### P179

トービンの(平均の) q に関する説明文で、上部の表の分子の部分に現在の「株式市場が評価する企業の株価の時価総額」に「負債総額」を付け加えます。



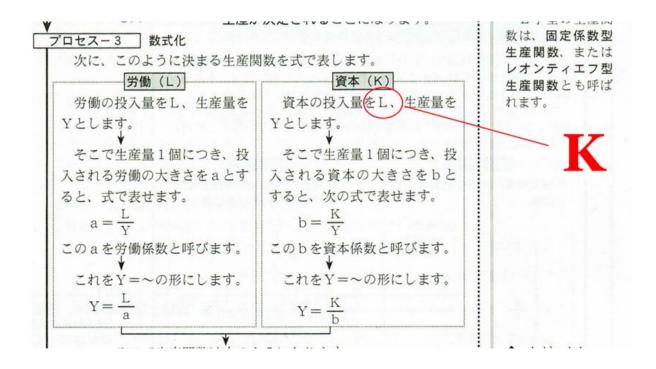
なぜ、分子に「負債総額」が加算されるかについては下記の動画を参照してください。

【動画】国家総合職「経済理論」の過去問解説(15)トービンの「平均のq」の計算

http://keizaimori.blogspot.jp/2016/12/15.html

## **P205**

P205中段、プロセス3数式化、資本(K)の説明部分につき、「資本の投入量をL、生産量を を Yとします。」となっていますが、「資本の投入量L」は、「資本の投入量K」となります。



以上、よろしくお願いいたします。